

ハイブリッド開催

古代中国と日本をめぐる 最新調査研究

参加費無料
通訳有



佐賀県大塚遺跡



中国・子午古道



奈良県桜井茶臼山古墳

2024年 **2月26日** 月
13:00～17:00 (受付12:30)

<対面> 先着250名, 申込不要
会場: 奈良県立橿原考古学研究所講堂
(奈良県橿原市畝傍町1番地)

または
<Zoom> 要事前申込

Zoom参加の
お申し込みはこちら



<https://forms.gle/vyM53PjkPrTbAhHr8>

総合司会 岡林孝作（奈良県立橿原考古学研究所）

- 13:00 開会挨拶・趣旨説明 神谷嘉美（明治大学）
13:05 報告1 神谷嘉美（明治大学）
漆器片の科学分析から試みる塗装プロセスの復元研究
13:15 講演1 秦小麗（復旦大学）
緑松石、紅瑪瑙和海貝—公元前2000年前後の地域間交流
（トルコ石、メノウ、貝殻—紀元前2000年頃の地域間交流）
14:15 講演2 方輝（山東大学）
中国史前至歴史時代早期的朱砂研究
（先史時代から歴史時代初期の中国における辰砂の研究）
15:25 休憩
15:35 報告2 南武志（奈良県立医科大学）
同位体分析から試みる遺跡出土朱の産地推定
15:55 報告3 斎藤誠史（東京大学総合研究博物館）
辰砂および朱の四種硫黄同位体分析
16:15 報告4 渡部展也（中部大学）・村松弘一（淑徳大学）
交通路の推定に基づく「中国文明」地域間関係分析の試み
—GISと文献からのアプローチ—
16:35 質疑応答・全体討論
16:55 閉会挨拶 川上洋一（奈良県立橿原考古学研究所）
17:00 終了

講演者紹介

秦小麗



復旦大学文物与博物館学系・科技考古研究院教授・博士課程指導教授。京都大学大学院文学研究科博士課程修了、博士号（文学）。主に土器研究、古代装飾品研究、新石器時代～初期青銅器時代における地域間交流の研究に従事。金沢大学国際文化資源研究センター准教授、陝西省考古研究所『考古と文物』編集責任者などを歴任。訳書に『五千年の良渚王国』（中国語→日本語）（2023年）、『夏王朝—中国文明の原像』（日本語→中国語）（2022年）。著書に『土器研究の理論と方法』（2022年）、『中国初期国家形成の考古学的研究—土器からのアプローチ』（2019年）、『黄河流域におけるトルコ石製品の生産と流通』（2018年）、『殷初期都市文明の形成と発展』（2017年）、『中国古代装飾品の研究—新石器時代から青銅器時代初期まで』（2010年）等があり、中国語、英語、日本語で100本以上の論文を発表している。

方輝



現在、山東大学歴史文化学院院長、博物館館長。山東大学主任教授、教育部長江学者特任教授、國務院考古学科評議審査グループメンバー。主な研究分野は夏・殷・周考古学、理論考古学、考古学史。研究成果により、国家大学人文社会科学部門優秀業績賞第1位をはじめ、多くの国家賞や省賞を受賞。運営・参加した考古学発掘プロジェクトは、「今年の考古学的新発見トップ10」に何度も選ばれている。

主催：文部科学省科学研究費助成事業学術変革領域研究（A）「中国文明起源解明の新・考古学イニシアティブ」（領域番号20H05815, 領域代表者：中村慎一）、同計画研究A02「考古遺物の材料分析と産地推定」（課題番号：20H05817, 研究代表者：神谷嘉美）、同計画研究A03「考古関連情報基盤の整備」（領域番号：20H05818, 研究代表者：渡部展也）、科学研究費基盤研究（A）「日本における初期王陵の実態解明—「国産化という産業革命」の視点から—」（課題番号20H00039, 研究代表者：岡林孝作）
後援：奈良県立橿原考古学研究所

お問い合わせ
はこちら

20240226koen-ml@googlegroups.com